

児童生徒の規範意識実態把握プログラム Ver. 2.0

群馬県総合教育センター

このプログラムは、『学校・家でのルールやきまりについてのアンケート』の集計結果を分析し、平成18年度の調査結果と平成19年度の調査結果を合わせたデータと比較することで、自校の児童(生徒)のルールやきまり(規範)にかかわる意識の様子をとらえることを目的に作成しました。

手順に沿って、プログラムを実行していくことにより、簡単に自校の児童(生徒)の意識の概要を把握することができます。

<児童生徒の規範意識実態把握プログラムVer.2.0 実行手順>

STEP1 総合教育センターのWebページからダウンロードした、zipデータを解凍する。



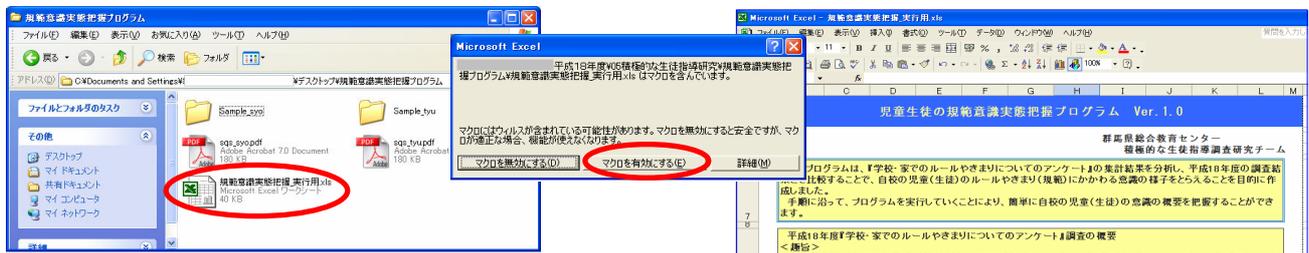
左図のように、デスクトップ等にダウンロードした、**zipデータ(kihan_exe.zip)**を解凍してください。WindowsXP以降のOSであれば、ダブルクリックするだけで開くことができるので、フォルダ内の「規範意識実態把握プログラム」フォルダをデスクトップ等にコピーしてください。それ以前のOSの場合は、解凍用のソフトウェアを使用してください。

STEP2 「規範意識実態把握プログラム」フォルダを開き、規範意識実態把握_実行用.xlsを起動する。

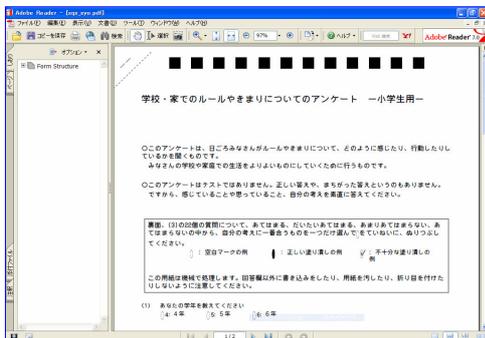


「規範意識実態把握プログラム」フォルダ内の**規範意識実態把握_実行用.xls**を開くと、本手引きと同様のシートが表示されます。表示されたシートの他に、プログラム実行用(青)、csvデータ貼付用(赤)のシートがあることを確認してください。

Excelのセキュリティ設定の状況によっては、下図のような**マクロの警告**が表示されますが、その場合は「**マクロを有効にする**」をクリックしてください。



STEP3 「規範意識実態把握プログラム」フォルダ内のsqs_syo.pdf(中学校はtyu_sqs.pdf)を開き質問用紙を印刷する。



学校種に合わせて、sqs_syo.pdf(小学校用)、sqs_tyu.pdf(中学校用)ファイルを左図のように開き、印刷してください。SQSシステムにより、スキャナ等を用いて集計する場合には、正確に両面印刷をしてください。

なお、回答の集計には、SQSシステムの利用を推奨いたしますが、人的な集計による結果を用いても、プログラムを実行することはできます。

※SQSシステムについては、群馬県 学校評価支援システム (<http://sqs.cmr.sfc.keio.ac.jp/gunma/>) のページをご覧ください。

STEP4 プログラム実行の準備

a) 質問用紙を手集計する場合

児童(生徒)の回答済みの質問用紙の手集計により、csvデータ貼付シートに、右の図のように数値を入力してください。

No、学年、性別の次の列から、各質問項目に対する回答になります。

あてはまる(4)、だいたいあてはまる(3)、あまりあてはまらない(2)、あてはまらない(1)というように、児童(生徒)の回答を数値に置き換えて入力してください。

No	学年	性別	学校での生学校のもの放課後は、家の人とはあてはまる(程度)
6	1	4	1
7	2	4	2
8	3	4	1
9	4	5	1
10	5	5	2
11	6	5	2
12	7	6	1
13	8	6	2
14	9	6	1
15	10	6	2

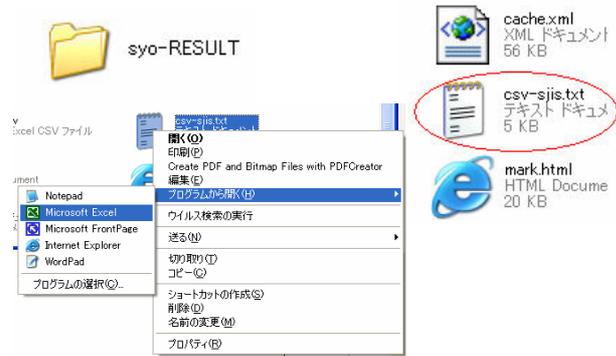
→ 各児童(生徒)の回答を右方向に入力

b) SQSシステムを使用する場合

児童(生徒)の回答済みの質問用紙をスキャナで読み取り、MarkReaderを用いて、集計を実行してください。

MarkReaderにより作成された、RESULTフォルダを開き、csv-sjis.txt を右クリック→プログラムから開く(H) →Microsoft Excel をクリックし、csv-sjis.txtをExcelファイルとして開きます。

(この方法でうまく開けない場合はExcelを起動し、csv-sjis.txtをドラッグ&ドロップして開いてください。)



開いたシート内のデータから、下の図のように、セルG7~AA00(回答人数+7)までのデータをすべて選択し、規範意識実態把握_実行用ファイルのcsvデータ貼付シート、セルA6以降に貼り付けてください。

→ SQSシステムにより生成されたcsv-sjis.txtをExcelファイルとして開いた状態

→ csv-sjis.txt から必要な数値を本プログラムのcsvデータ貼付シートに貼り付けた状態

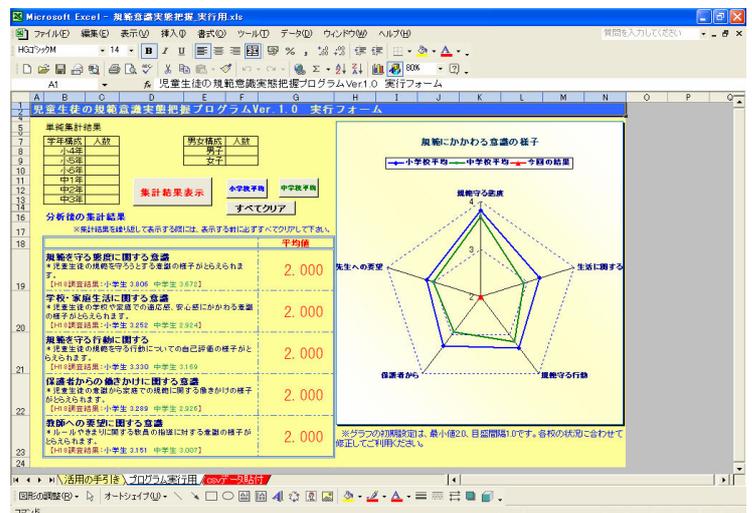
※ Sample_syo Sample_tyuフォルダ内に、SQSシステムによる集計結果のサンプルが保存されていますので、プログラムの動作確認にご利用ください。

STEP5 プログラムの実行

csvデータ貼付シートに児童(生徒)の回答結果を入力できたら、プログラム実行用シートを開きます。シート内にある、集計結果表示ボタンをクリックすると、

- * 単純集計結果(学年別人数、男女別人数)
- * 分析後の集計結果(平均値・グラフ作成)

それぞれの作業を瞬時にを行い、計算結果を表示します。また、小学校平均(中学校平均)ボタンをクリックし、平成18年度調査の結果から小学校(中学校)の平均値をグラフに描画し、自校の平均値と比較することができます。



STEP6 質問項目別結果と観点ごとの見方を表示する

プログラム実行用シート内にある、**質問項目別回答 結果一覧表示ボタン**をクリックすると、

* 質問項目ごとの平均値(実施データ)が瞬時に表示されます。

これは、質問項目を観点別に並び替えて、それぞれの平均値を表示します。

校種に合わせ、小学校平均・中学校平均と自校の平均値を比較することで、22項目の中で何が低くて、何が高いかを把握することができます。

観点ごとの見方も参考にしてください。

質問項目別回答 結果一覧表示		※質問項目別の回答結果の平均値と自校ごとの見方を一覧表で表示します。			すべてクリア
No	質問項目	小学校平均	中学校平均	発表アンケート	観点ごとの見方
2	学校のものごとをわざとこわすのはいけなないと観う	3.912	3.801		規範を守る態度に関する意識 児童生徒の規範を守る意欲の根子ごとらえられます
5	友達を仲間はずれにするのはいけなないと観う	3.764	3.582		・No2は、生半心に片手になる項目 ・No5は、No14と連動 いじめに片手になる項目 コミュニケーション能力
8	みんなを決めたルールやまじりにしたがるのはいけなないと観う	3.712	3.509		・No5は、規範意識の基になる項目
12	人をぶったりけったりする(暴力をふるう)のはいけなないと観う	3.737	3.592		・No12は、No14と連動 いじめに片手になる項目 ・No17、22は、事件に片手になる項目
17	小生(中学生)がたばこを吸ったり、酒を飲んだりするのはいけなないと観う	3.882	3.746		
22	小生(中学生)が万引きをするのはいけなないと観う	3.948	3.860		
1	学校での生活は楽しい	3.349	3.188		学校・家庭生活に関する意識 児童生徒の学校や家庭での適応性、安心感に片手になる意欲の根子ごとらえられます
9	勉強は好きだ	2.649	2.074		・学校、家庭における安心感を感じる項目 ・No1は、勉強が得意な場合、充実して学習しているが、未熟な方向に流れて楽しいの学習が効果がある ・No4は、正しい場合は自信を失っている可能性がある ・No19は、仲間意識に片手になる項目 ・No15は、学校、家庭における適応性や中心の状況に片手になる項目
18	遊びに行くときは、行き先と帰る時間を家の人に伝えてる	3.464	3.041		
19	身の回りの動物や植物をいじめたり傷つけたりしないようにしている	3.617	3.458		
3	放課後は寄り道をしなくて、家または児童館などで帰っている(小)放課後、または部活動が終わった後、寄り道をしなくてすぐに家に帰っている(中)	3.598	3.550		規範を守る行動に関する意識 児童生徒の規範を守る行動についての自己制御の根子ごとらえられます
6	学校のもの(いすや机、そのじ用具など)をこわさないよう大事にしている	3.682	3.467		・No3は、下校時などの定着度を感じる項目 ・No5は、生半心に片手になる項目 ・No10は、規範意識の基になる項目 ・No14は、No5、12と連動 いじめに片手になる項目 コミュニケーション能力 ・No19は、責任感に片手になる項目
10	朝来やまじりを守っている	3.268	3.099		
14	友達の間口を言わないようにしている	3.105	2.893		
19	真がすまないとことや、めんどくさいことでもちゅうで隠すおさないようにしている	3.135	2.916		
活用の手引き プログラム実行用 CSVデータ貼付					保護者からの働きかけに関する意識